

(様式3)

令和3年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	NPO法人 レッドリボンさっぽろ	
実施事業名	HIV/AIDSを取り巻く支援団体紹介リスト冊子の作成・配布	
団体代表者	本庄 真美子	
事業の目的	HIVを取り巻くLGBT・DVなど相談先リストを1冊の冊子にまとめて作成し、同じように相談を受ける道内の機関に配布したい。また、イベントなどで参加者に配ることで実際に悩んでいる当事者が手に取れるようにしたい。	
事業の達成度	相談リストを取り纏め、HIVの相談を受け付けている北海道内の拠点病院・保健所のほか、協力いただいた団体等へ配布を行ったほか、今後のイベント配布も見据え500部を製作し、事業の目的が達成できました。 掲載内容については当初北海道内のLGBT団体などへも協力をお願いし、対面での打ち合わせを行う予定でしたが、長引く緊急事態宣言・まん延防止措置により実施は難しいと判断し、当会のみで実施しました。	
事業実績	対象となった人数 (実数)	北海道内拠点病院19施設・北海道内保健所 40ヶ所 リスト掲載協力団体 59施設・リスト掲載不可および未回答団体221施設
	具体的な活動内容	リスト作成にあたり、HIVに関連する項目で、HIV相談では対応できない内容をレッドリボンさっぽろ内で検討し、それらの解決につながると思われる団体を北海道内を中心に洗い出し、280団体に対してリストの掲載協力同意書を送付しました。 (同意書送付にはレッドリボンさっぽろのパンフレットを同封。) 協力を依頼した280団体のうち同意いただいた団体は59団体、不可は39団体、182団体は未回答でした。協力依頼文には「HIV相談では対応できない問題解決のため」といった趣旨を記載していたものの、掲載協力不可団体(地方自治体)の多くが「HIVに詳しい人がいない」という理由で掲載不可となりました。掲載協力いただいた団体(地方自治体)の中でも趣旨を理解いただけず、当初健康保険等の担当部署に送付していたものの、保健所や保健福祉課などに転送され回答されたケースも散見されました。 当会としても初めての試みであり、各団体に示せる資料がなかったことも誤った回答や不可・未回答になった要因と考え、今後の改定を見据えて完成した冊子を協力を依頼した全ての団体に送付することとし、当初の計画を変更して印刷を行いました。

活動の様子

※活動の様子、イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。

レッドリボンさっぽろURL <https://redribbon.or.jp>

右の画像は製作した冊子の表紙部分です。
冊子は1部同封しております。

